

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	坂田ヶ池総合公園			
指定管理者	NPO法人成田坂田ヶ池の友			
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日	～	令和 8 年 3 月 31 日	5 年目
施設所管課	都市 部		公園緑地 課	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅰ 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A	
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A	
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A	
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A	
		避難経路は適切に確保されているか	—	—	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
	その他				
	【総括 Ⅰ】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)		A	
	指定管理者の自己評価	実施体制は協定書に基づき適正に実施している。また、危機管理認識の向上を図るために、作業上の注意点、来園者の事故防止について始業前に話を行い確認をした。所管課とは月1回の定例会議を開き直近の報告・課題を整理して業務の円滑化に務めた。			
	施設所管課の評価	日々の業務を詳細に記録した作業日報や作業写真、課題点等の資料をもとに月1回、定例打合せを行い、公園の運営状況や課題を明確に情報共有することができた。また、遊具等の日常点検や定期点検、維持管理作業についても滞りなく実施されており、公園管理についても良好であった。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	B	B
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	その他			
	【総括 Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 19 項目)	A	

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	電気・水道・浄化槽設備等の委託事業者は施設に精通しており、問題なく適切に管理された。自主事業は、自然観察会を開催し沢蟹を見つけたりして楽しんでもらった。
	施設所管課の評価	坂田ヶ池総合公園に関する問い合わせが多いため、ホームページ開設が必要であるが、来年度から指定管理者が成田スポーツ・みどり振興財団へ変更となるため、改善が見込まれる。また、自主事業については来園者からも好評であり、降雨の場合でも中止ではなく延期開催としていただきたい。 日々の点検に基づいた修繕が早急に実施され、サービス水準の維持が図られていたことも評価できる。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他			
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 6 項目)	A	
	指定管理者の自己評価	毎日の経理事務は「現金・預金残高日報」を記帳して翌月上旬には会計事務所に提出し、月毎の決算書を作成している。また、予算執行は、施設の老朽化による破損等が多くあったが、私たちができるだけ修繕し業者委託を減らすなど経費の削減に努めた。		
	施設所管課の評価	日々の経理については、適正な経理事務が執行されている。また、施設において多数見受けられる修繕においても、できることはNPOの会員自らが行うことで、外注経費削減が図られており、評価できる。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	多くの人に利用していただく(来園者数)	105,000人/年・延	A	A
	目標②	イベントの実施	5回/年	A	A
	目標③	キャンプ場の売上収入の増	6,000千円	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 3 項目・本施設 3 項目)			
	指定管理者の自己評価	目標①来園者数97,928人 目標②イベント数4回 目標③キャンプ収入4,884千円 目標より下がったのは、全体として夏の猛暑のため来園者数及びキャンプ利用者の減が影響したものと考えられる。			
	施設所管課の評価	目標3項目において下回った数値となったのは、いずれも昨年夏の猛暑が影響した結果であるといえる。また、日々の管理業務により公園の適正な管理がなされ、独自イベントも来園者から好評である。なお、独自イベントについては、新指定管理者においても工夫を凝らし実施回数を増やすことで、来園者増、キャンプ場売上げ増に繋げていただきたい。加えて、PRIについてもより効果的な手段で行っていただきたい。			

Ⅴ	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	---------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	豊かな自然と水に親しめる広大な公園であるが、適正な維持管理がなされていた。指定管理に関する経費とNPO団体の経費について適正に区別されていた。
	改善が望まれる点	